



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

1. 木産協各部会書面決議について!!
2. 広葉樹利用拡大協議会現地視察!!
3. 素材部会コロナ対策研修会開催!!
4. JAS、過剰木材事業等説明会開催!!
5. 専門職大学就農等支援PT会議開催!!
6. 令和元年度林業白書発行!!



1 木産協各部会書面決議について!!

6月10日新型コロナウイルス感染症対策により、三密を避け木産協執務室において、書面による各部会総会が開催された。JAS協議会は沖田洋元監事、素材生産部会は下山邦彦監事、プレカット協会は相田吉則監事、広葉樹協議会は松田賢監事から事前に監査いただいたうえで、各部会員から書面決議をいただきました。その結果、すべての部会が成立し、提案された議案は(1)令和元年度事業報告と収支決算案(2)令和2年度事業計画と収支予算案(3)その他の案件全てが全会一致で承認されました。その結果報告は、各会員あてに郵送させていただきました。

2 広葉樹利用拡大協議会現地視察!!

6月12日県広葉樹利用拡大協議会(会長:會田悦陸氏)は会員6名と県関係者3名が参加し、広葉樹製材販売の先進地である福島県南会津町「きこりの店」(社長:小椋敏光氏)を視察した。これは県新規事業である広葉樹利用拡大プロジェクト事業の一環で、植樹、伐採、製材、乾燥、展示販売、住宅建築まで手掛ける小椋社長に広葉樹利用拡大のノウハウや今後の戦略のアドバイス等をお願いし実現した。当初は3月に訪問予定であ



ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で県域を越えた出張等自粛のため、制限解除を待って実施したもの。朝7時30分山形発夕方6時着の強行軍でしたが、得られた成果も多く、写真にもあるように製材品をある程度横積みで乾燥した後、縦並びで乾燥しながら見せる工夫をしている。その在庫量は各倉庫棟に半端ない量が納められ、その一つ一つに樹種と価格がバーコードとともに貼付されていた。人工乾燥装置も所有しているが、基本は天然乾燥であると社長は強調した。店を訪れる客層は7割が首都圏の方でリピーターが多いとのこと。

10月開催予定の第30回林業まつりはコロナ対策等のため中止します!!

3 素材部会コロナ対策研修会開催!!

7月1日素材生産部会(会長:佐藤久一氏)は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて6月からセイホク(株)や石巻合板(株)、協和木材(株)が減産体制を表明し、原木入荷量の制限等を開始したことから、急遽対策を検討するため、新庄市ゆめりあ会議室にて部会員15名の参加で意見交換会を開催した。

冒頭、佐藤会長からコロナ時代を生き抜く或いは耐え忍ぶ方策と行き場を失ったB材への新たな支援策を皆で検討し、行政等へ要望活動を行いたい。今、県内の森林整備と木材利用推進を止めるわけにはいかないし、この難局を最小の被害で乗り切らなければと挨拶した。続いて鈴木事務局長から(1) コロナウイルス感染症対策について、(2) 輸出原木等保管緊急支援事業について(3) 行政への緊急要望事項についての説明があり、その後意見交換が行われた。

主な意見・要望として、「コロナの収束まで1年以上かかるとの報道等もあり、緊急対策の他に恒久的な対策も必要では。」「素材生産だけでなく、本格的に造林等森林整備にも対応できる体制が必要ではないか。」「B材をやむを得ずバイオマス材に転換する場合の支援が必要では。」「7月は材に虫が入り易い。防虫対策に支援がほしい。」などが提案された。

なお、感染症対策とクラスター発生を防ぐため、会議室前で参加者全員の検温とアルコール消毒、体調を確認し、会議中はマスクの着用と各テーブル1名の千鳥配置でソーシャルディスタンスを約2m確保して会議を実施した。



4 JAS、過剰木材事業等説明会開催!!

全木連ではJAS実証支援事業(一部拡充)と過剰木材在庫利用緊急対策事業(新規)、輸出原木保管等緊急支援事業説明会を東京都の移動制限解除後の6月24日メルパーク仙台(東北ブロック会場)で東北各地から工務店・設計士等約100名を集め開催した。

JAS構造材利用拡大事業は継続事業で主な変更点では、対象物件が大幅に緩和され、非公共非住宅を原則とし、その中でも4階以上の住宅、長屋形式の住宅(集合住宅・アパート等)はOKとなった。助成金も2,000円/㎡から50,000円/㎡に変更になった。

過剰木材在庫利用緊急対策事業は、公共施設支援として入札等で落札した業者(ゼネコン等元請企業)が対象で、本体工事(構造材・内装材)の他、外構部材(木塀・公園遊具等)も対象になります。助成金は構造材で床面積あたり39,000円/㎡、内装材で内装面積あたり12,000円/㎡、外構材は17,500円/mとなっております。

輸出原木保管等緊急支援事業は、二次補正予算から輸出原木に限らず合板用材等行き場を失い滞留しているB材を一時的に保管し、品質を保持したまま需要回復時の出荷に対応するための支援策である。対象は素材生産事業者や森林組合で、一時保管のための運搬費や積み下ろし等の掛かり増しする費用を補填するもの。

木産協会員には既に案内済であるが、7月3日メトロポリタン山形、6日酒田リッチ&ガーデンの2箇所で説明会を実施しますので、ご参加ください。

5 専門職大学就農等支援 PT 会議開催!!

専門職大学は、本県発の東北・日本を牽引する農林業経営者（スーパートップランナー）の育成を目的に、本県の先進的な農林業経営や高度な栽培技術を生きた教材としながら、経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏付けられた実践力を備え、グローバルな視野とローカルな視点を併せ持った農林業人材を育成します。昨年12月の県議会で知事が、令和5年4月開学、県直営で運営し設置場所は新庄市（農林大学校敷地内）と表明しています。

令和2年度は、専門職大学の設置に向けた基本計画の検討、大学校舎の設計、予定地の旧学生寮の解体工事等を実施する計画である。

就農等支援プロジェクトチームは、学生の県内定着に向けた支援策（給付型就学資金や就農・就業しやすい仕組み、農林業関係機関との連携）等を約2か年検討していく。

6 令和元年度 林業白書発行!!

『令和元年度森林・林業白書』（令和元年度森林及び林業の動向、令和2年度森林及び林業施策）が閣議決定後、国会に提出されました。今回の特集は「持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業」です。SDGsはSustainable Development Goalsの略称で、平成27年の国連サミットにおいて採択されました。森林は、SDGsの目標15に「持続可能な森林の経営」が掲げられているほか、森林そのものが水を育み、二酸化炭素を貯留し、山地災害の防止にも貢献しています。

今回、特集の(3) 森林空間の利用に関わる取組事例として、(イ)健康のページで本県上山市のクアオルト健康ウォーキングが写真入りで紹介されています。



森林内をウォーキング

(資料特—16)

7 日本百名山シリーズ紹介（宮之浦岳）

県内では県域を越えた移動が解除になりました。シリーズを復活させたいと思います。宮之浦岳（1,936m）は日本最南端の百名山で鹿児島県屋久島にそびえる九州地方の最高峰である。周囲130kmの島に1,000mを超える山が45座まさしく洋上のアルプスである。年間降水量も10,000mmを超え、これまで3回屋久島に挑戦したが、全て雨降りか台風であった。せっかく東北からやってきたので宮之浦岳山頂を目指したが、暴風雨でした。良い子はまねをしないでください。登山道がそのまま濁流になります。山頂周辺は遮るものもなく、雨粒を痛いと感じたのは初めての経験でした。登山自体には危険箇所もほとんどなく晴れば種子島等周辺の島々が望める絶好のロケーションと聞きました。さて、もう一つのお楽しみが屋久杉巡りですが、縄文杉、大王杉、紀元杉、弥生杉、ウィルソン株等有名な杉には出会えました。ヤクシカ、ヤクサルも、もののけ姫の森（白谷雲水峡）も見れました。また、下界に降りてからの観光のお勧めは、白砂で日本一のウミガメ産卵地でもある永田地区の「いなか浜」です。平内海中温泉や大川の滝等見どころが続きます。そして、芋焼酎「三岳」は今でも愛飲している屋久島の代表酒です。まいうっ！



8 住宅着工状況

令和2年5月期の県内新設住宅着工戸数は367戸となり、対前月比67.6%、対前年同月比66.1%、前年累計比は90.4%となった。
全国的にはコロナ感染症により大きく減少し、5月の持ち家2万戸割れは1960年以来60年ぶりの低水準となった。前年同月比▲20%。

1 県内新設住宅着工戸数(令和2年5月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
5月	555	254	246	3	52	551	4	410	73.9%	282	6	122
31.1月~5月	2,177	1,145	690	7	335	2,165	12	1,824	83.8%	1,289	37	498
6月	794	353	187	2	252	785	9	505	63.6%	367	23	115
7月	457	227	167	13	50	454	3	377	82.5%	289	3	85
8月	503	210	220	2	71	484	19	401	79.7%	276	9	116
9月	533	235	187	1	110	523	10	453	85.0%	273	11	169
10月	368	167	141	0	60	358	10	313	85.1%	224	8	81
11月	480	223	196	2	59	479	1	438	91.3%	348	11	79
12月	443	216	119	0	108	438	5	386	87.1%	292	8	86
02.1月	220	105	66	0	49	219	1	191	86.8%	143	5	43
2月	425	209	158	1	57	424	1	352	82.8%	204	13	135
3月	414	281	74	0	59	410	4	388	93.7%	295	6	87
4月	543	295	185	0	63	528	15	489	90.1%	328	12	149
5月	367	233	77	1	56	364	3	326	88.8%	264	5	57
対前月比	67.6%	79.0%	41.6%	#DIV/0!	88.9%	68.9%	20.0%	66.7%	-	80.5%	41.7%	38.3%
対前年同月比	66.1%	91.7%	31.3%	33.3%	107.7%	66.1%	75.0%	79.5%	-	93.6%	83.3%	46.7%
31.1~当月計	2,177	1,145	690	7	335	2,165	12	1,824	83.8%	1,289	37	498
02.1~当月計	1,969	1,123	560	2	284	1,945	24	1,746	88.7%	1,234	41	471
対累計前年比	90.4%	98.1%	81.2%	28.6%	84.8%	89.8%	200.0%	95.7%	-	95.7%	110.8%	94.6%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和2年5月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	367	1,969	66.1%	90.4%	1,746
山形市	58	544	23.9%	72.3%	453
上山市	5	33	33.3%	70.2%	30
天童市	29	176	82.9%	95.1%	157
山辺町	6	18	100.0%	85.7%	17
中山町	4	9	25.0%	33.3%	9
東南村山	102	780	32.4%	75.6%	666
寒河江市	21	72	150.0%	93.5%	70
河北町	8	39	160.0%	229.4%	39
西川町	1	1	-	100.0%	1
朝日町	0	7	0.0%	350.0%	6
大江町	1	8	100.0%	160.0%	8
西村山	31	127	147.6%	124.5%	124
村山市	5	23	100.0%	67.6%	22
東根市	56	240	175.0%	160.0%	191
尾花沢市	2	13	100.0%	100.0%	12
大石田町	5	10	-	-	10
北村山	68	286	174.4%	145.2%	235
村山地域	201	1,193	53.6%	89.6%	1,025
新庄市	16	46	47.1%	37.7%	46
金山町	1	2	-	200.0%	2
最上町	2	5	200.0%	500.0%	5
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	3	6	-	200.0%	5

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	1	2	-	200.0%	2
鮭川村	1	4	-	200.0%	4
戸沢村	0	0	0.0%	0.0%	0
最上地域	24	65	64.9%	48.9%	64
米沢市	13	100	31.0%	76.9%	92
南陽市	15	60	150.0%	171.4%	59
高畠町	8	51	72.7%	118.6%	50
川西町	4	13	133.3%	65.0%	11
東南置賜	40	224	60.6%	98.2%	212
長井市	13	42	118.2%	110.5%	40
小国町	2	4	50.0%	66.7%	4
白鷹町	1	6	14.3%	42.9%	6
飯豊町	2	7	100.0%	100.0%	7
西置賜	18	59	75.0%	90.8%	57
置賜地域	58	283	64.4%	96.6%	269
鶴岡市	37	231	168.2%	128.3%	202
三川町	3	8	-	44.4%	8
庄内町	7	23	87.5%	121.1%	22
田川	47	262	156.7%	120.7%	232
酒田市	31	153	172.2%	80.1%	144
遊佐町	6	13	120.0%	108.3%	12
飽海	37	166	160.9%	81.8%	156
庄内地域	84	428	158.5%	101.9%	388

注:累計は令和2年1月~